

衛研第1-45号
平成28年 2月 3日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 4 週（平成 28 年 1 月 25 日～平成 28 年 1 月 31 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から三類感染症(二類：結核を除く)の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 2 人、ウイルス性肝炎 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、梅毒 4 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**インフルエンザ**(12.70 30.30)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、県全体で警報開始基準値(定点当たり 30.00)を超えた。保健所別では、草加(19.29 43.82)、越谷市(9.77 36.46)保健所管内で大きく増加し、さいたま市(38.24)、春日部(34.60)、幸手(34.57)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、全年齢階級から報告があり、10 歳未満で全体の 61.9%を占めている。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.13 3.96)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加し、前年までの同時期よりかなり多い。保健所別では、東松山(4.40 9.00)保健所管内で大きく増加し、熊谷(8.56)、春日部(6.83)、川口(6.50)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6 歳が最も多い。前年 6 月以降多い状況にある**流行性耳下腺炎**(1.01 0.75 0.96)は、依然小刻みな増減を繰り返している。保健所別では、幸手(1.78 2.78)、川口(0.33 1.38)、坂戸(0.17 1.33)保健所管内で大きく増加し、東松山(1.80)保健所管内からの報告が多い。**感染性胃腸炎**(9.03 9.94)の定点当たり報告数は、前週より微増した。保健所別では、熊谷(17.11)、東松山(14.60)保健所管内からの報告が多い。**伝染性紅斑**(0.80 0.84)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、東松山(0.20 2.20)保健所管内で大きく増加し、鴻巣(1.42)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**流行性角結膜炎** 18 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 1 人、**インフルエンザ(入院)** 15 人の報告があり、後者は前週(5 人)より増加した。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	レジオネラ症	1 人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	2 人（病型 腸管アメーバ症 2 人）
	ウイルス性肝炎	1 人（病型 C 型）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人（血清群 A 群）
	後天性免疫不全症候群	2 人（病型 無症状病原体保有者 2 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	梅毒	4 人（病型 早期顕症 期 3 人、無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

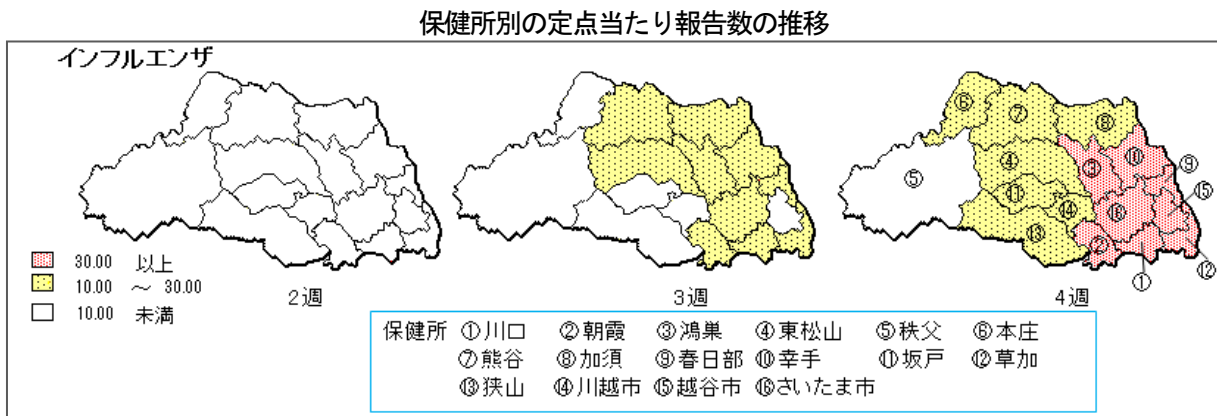
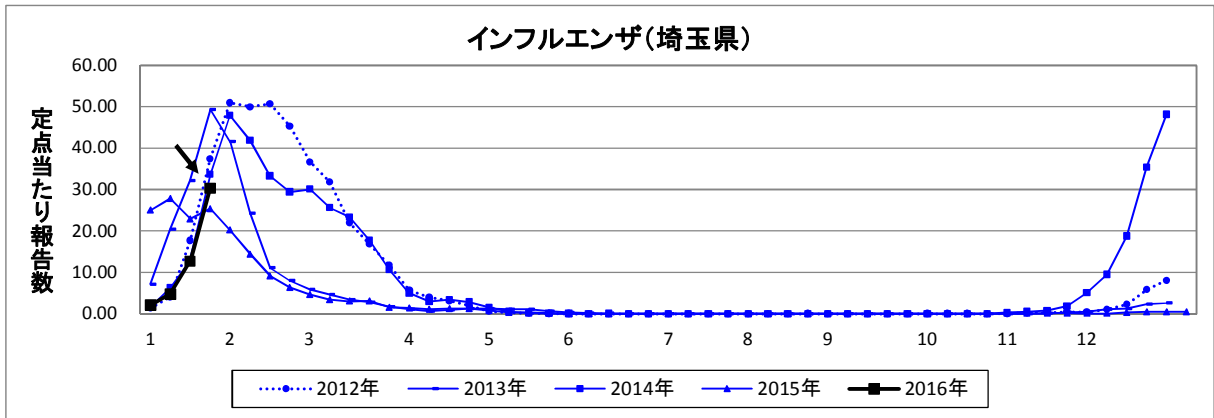
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

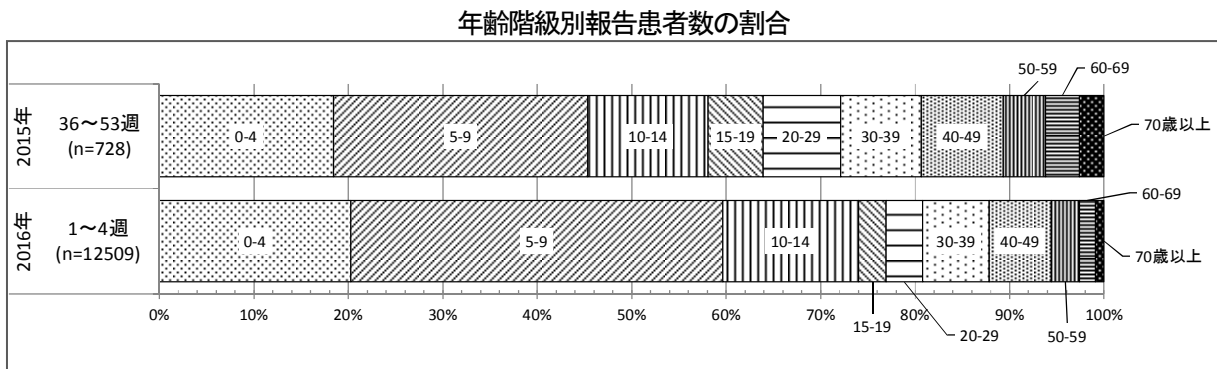
注目すべき疾患

ーインフルエンザ 内科・小児科定点ー

第4週のインフルエンザの県全体の報告患者数は7,605人、定点当たり報告数は30.30で、前週より大きく増加した。保健所別では、川口、朝霞、鴻巣、春日部、幸手、草加、越谷市及びさいたま市の8保健所管内で定点当たり30.00を超えた。



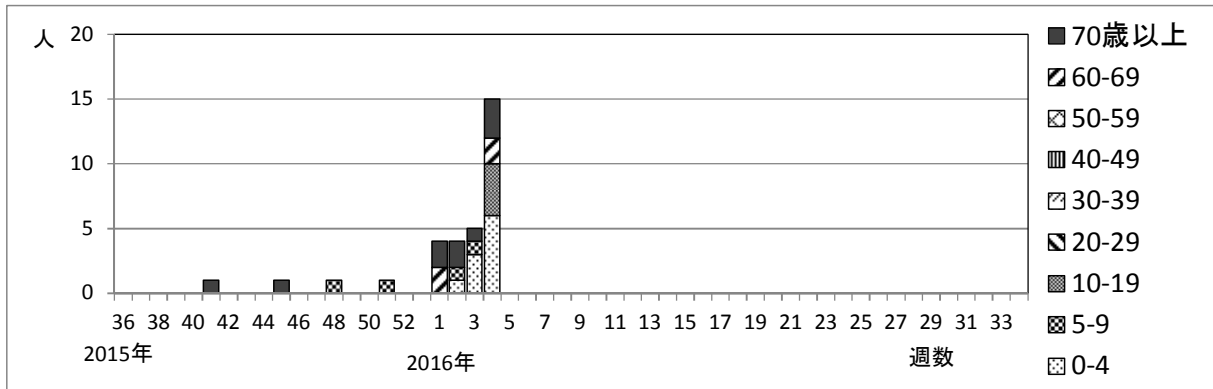
2016年第1～4週の報告患者12509人の年齢階級は、5～9歳が最も多く40%、次いで0～4歳が20%で、10歳未満が全体の60%を占めている。



ーインフルエンザ（入院）基幹定点ー

第4週は基幹定点（10 医療機関）のうち4カ所から15人の報告があり、前週の5人より増加した。年齢階級別では、0～4歳が6人と最も多い。

インフルエンザ（入院）の週別報告数



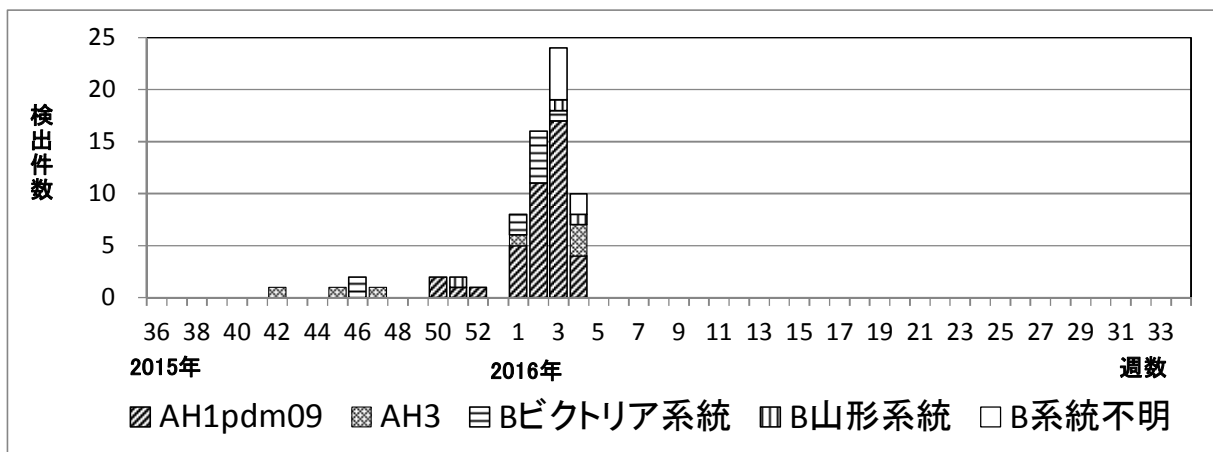
ーインフルエンザウイルス検出状況ー

熊谷(9人)、鴻巣(4人)、さいたま市(3人)、幸手(2人)、越谷市(2人)保健所管内で採取された検体から、今週新たにAH1pdm09が11件、B型が6件、A香港が3件検出された。9月(36週)以降の検出は、AH1pdm09が41件、A香港が7件、B型が20件の計68件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級								計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
AH1pdm09	今週検出分	5	1		2	1		1	1	11
	累積	29	3	-	3	3	-	2	1	41
AH3(A香港)	今週検出分	3								3
	累積	5	2	-	-	-	-	-	-	7
B型	今週検出分	4	1						1	6
	累積	12	5	-	2	-	-	-	1	20

検体の採取週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第4週)

(2016年2月2日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2015年 累計		今週 届出	累計	2015年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1276	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス		1	1
細菌性赤痢			6	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症			167				
四類感染症							
E型肝炎		5	7	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
ウエストナイル熱				ニパウイルス感染症			
A型肝炎			16	日本紅斑熱			
エキノкокクス症				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
サル痘				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	6	90
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱		2	13	ロッキー山紅斑熱			
東部ウマ脳炎							
五類感染症							
アメーバ赤痢	2	4	30	侵襲性肺炎球菌感染症	2	12	85
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	1	6	水痘*		2	10
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1	40	先天性風しん症候群			
急性脳炎		3	28	梅毒	4	9	103
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症		1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病			10	破傷風			2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	12	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	2	4	35	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			9
ジアルジア症			4	風しん			8
侵襲性インフルエンザ菌感染症			14	麻しん			2
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	1
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計		1		

累計は診断日で集計
* 2015年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別 (第4週)										平成28年1月25日～平成28年1月31日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)																			
全	7,605	58	55	634	1,591	81	9	134	73	1	1	153	-	18	-	-	-	1	-	-	15																			
川	30.30	0.36	0.34	3.96	9.94	0.51	0.06	0.84	0.46	0.01	0.01	0.96	-	0.44	-	-	-	0.10	-	-	1.50																			
朝	744	4	6	104	211	11	4	13	7	-	-	22	-	8	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	31.00	0.25	0.38	6.50	13.19	0.69	0.25	0.81	0.44	-	-	1.38	-	1.60	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	683	3	4	54	144	9	-	6	2	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	2																			
朝	32.52	0.23	0.31	4.15	11.08	0.69	-	0.46	0.15	-	-	0.77	-	0.25	-	-	-	*	*	*	2.00																			
朝	613	4	9	33	132	12	-	17	5	-	-	7	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	32.26	0.33	0.75	2.75	11.00	1.00	-	1.42	0.42	-	-	0.58	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	189	-	-	45	73	3	-	11	5	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	23.63	-	-	9.00	14.60	0.60	-	2.20	1.00	-	-	1.80	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	44	-	-	2	10	-	1	-	1	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	8.80	-	-	0.67	3.33	-	0.33	-	0.33	-	-	*	-	*	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	75	2	2	10	15	-	-	3	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	10.71	0.50	0.50	2.50	3.75	-	-	0.75	0.50	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	275	11	-	77	154	5	-	6	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	19.64	1.22	-	8.56	17.11	0.56	-	0.67	0.44	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	239	7	-	6	31	3	-	7	4	-	-	7	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	23.90	1.17	-	1.00	5.17	0.50	-	1.17	0.67	-	-	1.17	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	346	-	3	41	32	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	34.60	-	0.50	6.83	5.33	0.17	-	-	-	-	-	1.67	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	484	5	3	17	47	4	-	4	3	-	-	25	-	-	-	-	-	1	-	-	-																			
朝	34.57	0.56	0.33	1.89	5.22	0.44	-	0.44	0.33	-	-	2.78	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-																			
朝	204	1	3	28	31	1	-	7	2	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	3																			
朝	20.40	0.17	0.50	4.67	5.17	0.17	-	1.17	0.33	-	-	1.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	3.00																			
朝	745	7	6	42	78	4	-	10	6	1	-	10	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	43.82	0.64	0.55	3.82	7.09	0.36	-	0.91	0.55	0.09	-	0.91	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	584	5	13	42	143	4	-	14	6	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	23.36	0.29	0.76	2.47	8.41	0.24	-	0.82	0.35	-	-	0.18	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	338	1	-	45	108	-	1	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	26.00	0.13	-	5.63	13.50	-	0.13	0.50	0.25	-	-	0.13	-	-	-	-	-	*	*	*	*																			
朝	474	-	2	16	50	4	-	5	7	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4																			
朝	36.46	-	0.25	2.00	6.25	0.50	-	0.63	0.88	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00																			
朝	1,568	8	4	72	332	20	3	27	17	-	-	32	-	6	-	-	-	-	-	-	6																			
朝	38.24	0.30	0.15	2.67	12.30	0.74	0.11	1.00	0.63	-	-	1.19	-	0.75	-	-	-	-	-	-	6.00																			

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 2月 2日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第4週 平成28年1月25日～平成28年1月31日)

	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	7,605	18	71	228	284	335	602	706	650	694	611	506	1,160	212	219	471	435	227	112	50	14
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	58	11	12	17	12	2	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	55	-	4	13	9	2	4	7	3	2	5	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	634	1	4	10	28	60	78	82	87	66	60	37	85	7	29	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,591	12	88	215	164	148	131	124	94	80	77	64	162	40	192	-	-	-	-	-	-
水痘	81	-	3	6	5	8	13	14	8	10	5	3	5	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	9	-	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	134	-	2	2	6	11	25	15	22	15	15	9	10	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	73	1	31	31	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	153	-	1	2	13	13	25	22	12	11	16	8	18	3	9	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	5	3	1	1	2
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	15	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第2週

(1月11日~1月17日)

平成28年2月3日

インフルエンザの定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(12.22)、新潟県(11.80)、秋田県(8.94)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は282例と前週と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1~9歳(74例)、10代(13例)、20代(5例)、30代(8例)、40代(7例)、50代(22例)、60代(26例)、70代(40例)、80歳以上(72例)であった。

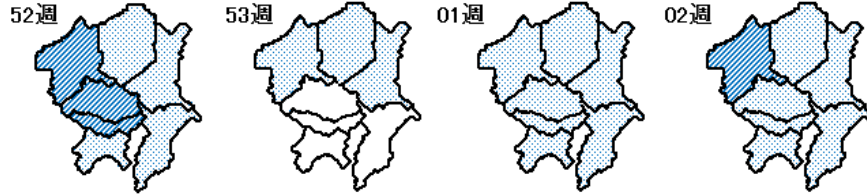
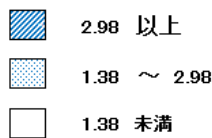
RSウイルス感染症の報告数は2,295例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(1.41)、島根県(1.04)、新潟県(0.92)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(6.53)、鳥取県(6.00)、静岡県(4.85)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は徳島県(11.83)、愛媛県(11.70)、熊本県(10.96)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.88)、茨城県(0.83)、福岡県(0.82)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山口県(0.27)、熊本県(0.18)、岐阜県(0.11)、愛媛県(0.11)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.64)、山形県(2.60)、秋田県(2.49)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は石川県(4.03)、佐賀県(3.13)、沖縄県(2.82)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は奈良県(2.33)、大阪府(1.88)、福岡県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。27道府県から86例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1~4歳(59例)、5~9歳(9例)、10代(2例)、70歳以上(3例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、群馬県(3.71)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成28年 02週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	20,369	6,534	557	226	306	1,204	1,244	1,573	1,424
	定点当たり	4.11	4.32	4.64	2.97	3.22	4.76	5.81	3.79	4.21
RSウイルス感染症	報告数	2,295	376	29	18	28	85	53	88	75
	定点当たり	0.73	0.40	0.39	0.38	0.48	0.53	0.39	0.34	0.35
咽頭結膜熱	報告数	1,124	228	21	7	22	50	30	51	47
	定点当たり	0.36	0.24	0.28	0.15	0.38	0.31	0.22	0.19	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,428	2,248	159	92	215	399	377	616	390
	定点当たり	2.35	2.37	2.12	1.92	3.71	2.51	2.79	2.35	1.83
感染性胃腸炎	報告数	24,349	8,488	668	343	470	1,734	1,233	2,253	1,787
	定点当たり	7.71	8.93	8.91	7.15	8.10	10.91	9.13	8.60	8.39
水痘	報告数	1,491	516	62	14	12	119	70	142	97
	定点当たり	0.47	0.54	0.83	0.29	0.21	0.75	0.52	0.54	0.46
手足口病	報告数	129	36	2	1	1	10	4	16	2
	定点当たり	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.06	0.03	0.06	0.01
伝染性紅斑	報告数	2,542	576	52	41	32	166	110	110	65
	定点当たり	0.80	0.61	0.69	0.85	0.55	1.04	0.81	0.42	0.31
突発性発しん	報告数	1,432	451	17	26	29	73	75	133	98
	定点当たり	0.45	0.47	0.23	0.54	0.50	0.46	0.56	0.51	0.46
百日咳	報告数	37	6	-	-	1	2	3	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.02	0.01	0.02	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	65	17	-	-	2	3	3	5	4
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	2,793	760	82	36	13	160	128	192	149
	定点当たり	0.88	0.80	1.09	0.75	0.22	1.01	0.95	0.73	0.70
急性出血性結膜炎	報告数	10	4	-	-	-	1	-	-	3
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.03	-	-	0.06
流行性角結膜炎	報告数	504	178	16	18	9	29	28	23	55
	定点当たり	0.73	0.88	0.94	1.50	0.64	0.73	0.85	0.59	1.17
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	3	-	-	-	2	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.20	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	3	-	-	-	1	1	-	1
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	0.10	0.11	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	341	79	12	9	6	10	10	29	3
	定点当たり	0.72	0.96	0.92	1.29	0.75	1.00	1.11	1.16	0.30
クラミジア肺炎 #3	報告数	13	4	-	-	-	1	2	1	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	0.10	0.22	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	86	5	-	2	2	-	-	-	1
	定点当たり	0.18	0.06	-	0.29	0.25	-	-	-	0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2016年

- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)

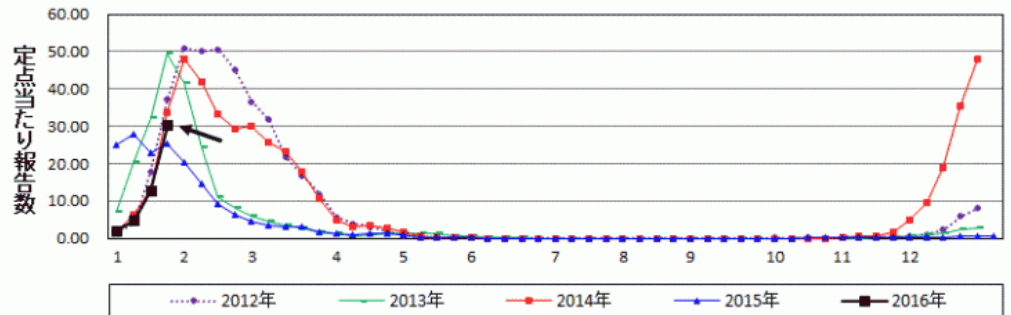
感染症の流行状況 2016年 第4週

2016年第4週（平成28年1月25日～1月31日）の要点 平成28年2月3日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★★	伝染性紅斑	→	★★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン